明石市立江井島中学校　４２回生　第１学年　学年通信

平成３０（２０１８）年１１月８日　　NO．５５

自分さがし

進路について考えよう！ part2

３，普通課程･専門課程・総合学科・単位制



①普通課程

普通課程は、高い普通教育を主とする科目（国語・社会・数学・理科・外国語）を中学校以上に深く学習します。卒業後、大学・短大・専門学校等に進学する割合が高いです。

②専門課程

専門課程は普通課程に比べて各職業に関する専門科目が選択できます。時間割の半分近くが専門の学習、実習にあてられます。在学中に色々な資格がとれ、就職するときにも専門性をいかした職に就けることが多いようです。卒業後、就職する人が多いのですが、推薦入学などで大学へ進学する人も増えています。

例えば、農業科、商業科、工業科、看護科、家庭科、情報科などです。

③総合学科・単位制

普通科目と専門科目の双方にわたる多様な教科・科目の中から、生徒が自分の興味・関心・能力･適性、進路希望に応じて主体的に科目を選択し学べます。

さらに単位制では、３年間以上で所定の単位を修得すれば卒業を認定し、学年の区分はありません。卒業後、大学・短大・専門学校に進学する生徒が多く、将来就きたい職業への技術・資格取得にむけての進学が多いようです。



４，定時制高校（多部制）と通信制高校

①定時制高校

昼間の高校を全日制と言います。それに対して夜間に授業を行う高校を定時制と呼びます。定時制高校は高等普通教育、専門教育を行う学校で、内容は全日制と同じで卒業後の資格も変わりません。以前は４年間で卒業することになっていましたが、３年間での卒業も可能になっている高校もあります。



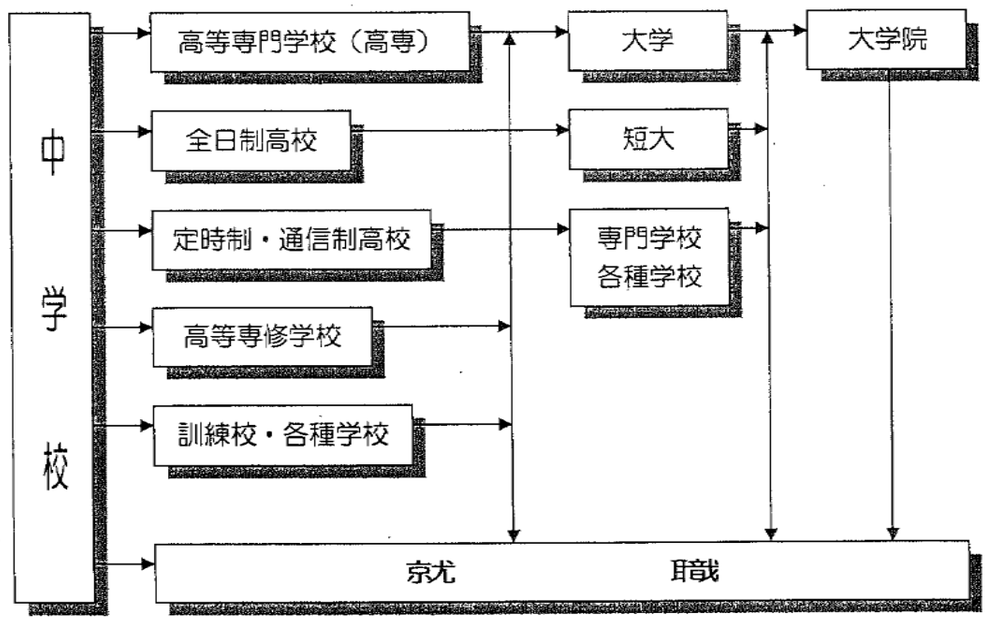
②多部制高校

１日４時間の授業が１部（午前）、２部（昼間）、３部（夜間）の３部開講しています。入学は４月、１０月にあり、所定の単位を修得できれば９月、３月に卒業することができます。

③通信制高校

働きながら学びたい人、多様な目的で学ぼうとする人が、教科書や学習書、ラジオやテレビの視聴等を通して学習し、レポートを提出したりスクーリングを受けたりしながら単位修得していく普通科教育の課程です。主に課程での学習ができる仕組みになっています。

✦これからの進路✦



さて、少しはイメージできましたか？

もう一度、確認ですが進路はどこの高校に行くかを決めることではありません。みんなの夢や希望を実現させるためにどんな道を通っていくべきかを考えることです。

もちろん、途中で夢が変わっていくこともあると思いますし、進路変更をする人もいます。

はっきりとしていることは今、学力や体力をつけていくことがこれからの進路の幅を増やすことになるのです。そのことを頭においておうちの方とよく話をして今日、配布される適性検査の「事前シート」を記入してきてください。